

# 平成29年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業政策課  
 担当名：企画・試験研究調整担当  
 内線：4035 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B4	水稲高温対策特別事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業研究費	農業技術研究センター費	
事業期間	平成23年度～平成32年度	根拠法令	なし			宣言項目	09 儲かる農業の推進		
						分野施策	040937 強みを生かした収益力ある農業の確立		
<b>1 事業の概要</b> これまで夏期の高温による米の品質低下を防ぐため、高温に強い水稲品種の開発に取り組んできた結果、「スーパー彩のかがやき(仮称)」の候補を選抜した。そこで育成した候補を速やかに普及に移すための安定生産技術を開発する。また原原種、原種等種子の増殖を行うとともに、遺伝子診断による純度の高い種子の供給システムを確立する。 (1) 高温耐性品種安定生産技術開発事業 △145千円 (2) 高温耐性品種の普及と種子供給システムの確立事業 △599千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 高温耐性品種安定生産技術開発 事業 3,684千円 → 3,539千円 イ 高温耐性品種の普及と種子供給システムの確立事業 6,927千円 → 6,328千円 (2) 事業計画 ア 高温耐性品種安定生産技術開発事業事業 県で育成した高温耐性品種(「スーパー彩のかがやき(仮称)」、その他新系統)の安定生産技術の開発。 イ 暑さに負けない水稲新品種育成事業 「スーパー彩のかがやき(仮称)」の種子(原原種)の速やかな増殖、および遺伝子診断による純度の高い種子の供給システム確立。 (3) 事業効果 高温耐性品種の速やかな普及により、「暑さに負けない高品質で安定した埼玉の米づくり」を確立する。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 JA等の農業団体と連携して現地定着を推進する。 (5) 補正予算の概要 事務費節減による減額					
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (県10/10)									
<b>3 地方財政措置の状況</b> なし									
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×10人=95,000千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△744	諸収入						△744	9,867
現計額	10,611	4						10,607	